

【新委員長 あいさつ】

2 期連続で情報工学部から選出されました執行委員長を務める山崎敏正です。

現在、少子化、高齢化が急速に進む中、本学のみならず、全国の教育機関が、生き残りをかけて、改革に尽力されています。こうした状況において、本来、組合活動の使命は、皆さんの待遇をより良くし、本学全体の活性化の一助をなすことであるにもかかわらず、今、執行役員や組合員の減少を目の当たりにし、執行委員長になった事を重く受け止めています。まずは、意識改革として、上記「危機感」を職員全員で共有することが考えられます。この事は、前執行委員長が指摘された「働く者の結束」につながります。そして、過去の組合活動を見ると改善の実績が存在しますので、この実績を信じ、それらを参考にして、少しでも“プラス”が得られるよう、組合員の皆さんのご意見を聞きながら、活動したいと思っておりますので、ご協力宜しくお願い致します。

【学長への挨拶】

8 月 29 日、14 時から 10 分間、組合新執行部から学長へ申し入れを行いました。大学側から尾家学長、鮫島人事課長が出席、組合からは山崎委員長、富重書記長、伊東執行委員、大野執行委員が出席しました。全体的に好印象で申し入れ・会談を行えま

した。学長からは、以下の通りご意見を頂戴しました。

- 大学構成員には誇りを持って仕事をしたい。そのための労働環境改善を考えたい。
- 予算（財源）は考えざるおえないため、トレードオフにはなるだろう。
- 申し入れにある「労働時間短縮に伴う 15 分間の時間外労働の割増率を 125/100 とする」は対応可能か検討したい
- 定年延長は企業は早期退職は 55 歳、それと比べると本学は良いのではないか。
- 給与面は東京などの関東と比べると差は大きい、地域の企業とはそれほど低くない。
- 改善にも優先順位があるため、これを先にすると改善しやすいなど、情報をいただきたい。
- 財源を使わない労働改善もあるだろう（例えば退職時に表彰するなど、ちょっとした気持ち・心づかいで仕事しやすいと思う）、そうした職場にしたい。

組合からも財源に関わらない改善も考えるが、人事院勧告などどうしても財源が必要な交渉もあり、大学側へ理解を求め、大学側と協力しながら改善していくと認識が一致しました。

■ □ ■ 組合員随時募集中 ■ □ ■

**** kitunion@mbr.nifty.com ** ←このアドレス、ご存知ですか？**

このアドレスに出されたメールは、執行委員にのみ届きます。
希望しない限り、組合員へメールが公開されることはありません。